

## ご挨拶



一般財団法人 全国中小企業共済財団

理事長 菊池 弘

皆様には、日頃より当財団の業務活動に格別のご高配を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

当財団は昭和30年代から中小企業問題の解決を畢生の事業として取り組んでおられた故鮎川義介氏(創設者・初代理事長)が、当時の中小企業団体代表者や全国の中小企業事業主の方々から経営の安定化や従業員の福利厚生の実現を図るための共済制度を望む多くの声に後押しされて、昭和41年3月に設立されました。爾来、共済制度を通じて中小企業従事者の福祉の増進と中小企業の振興に寄与すること、さらには、中小企業団体の組織強化に貢献することを基本理念として、今日に至っております。

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行し、マスクのない生活が取り戻されつつあります。しかし、生成AIの活用を始めとしたデジタルトランスフォーメーションへの対応が新たな経営課題として登場し、地球環境の深刻な状況を考えるとSDGsやEarth for Allへの対応も猶予がありません。これからの中小企業に求められている役割は決して小さなものではありません。

こうした社会情勢の変化のなかで、当財団は、全国の中小企業とその従業員の皆様が安心して事業に取り組むことができ、社会全体をより豊かにできるよう、支援を続けて参ります。鮎川氏が掲げた基本理念に基づく使命と役割を果たし、ステークホルダーの皆様へ価値を提供するため、新たな年度も職員一丸となって取り組んで参ります。

皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。